

全国の舞台で疾走!

19日(日)に滋賀県野洲市の希望ヶ丘文化公園のクロスカントリーコースで行われた全国中学校駅伝大会に蒼令学年から8名が参加しました。

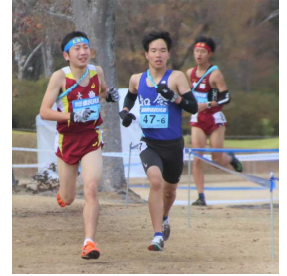
雨や雪の影響でコースはぬかるんだ状態となり、ハードな条件となりました。

1区の凌那さんがスタート直後から積極的に上位でレースを進めましたが、強豪が並ぶ全国大会ではその後、思うようには順位を上げることができず、34位でのゴールとなりました。駅伝部のメンバーは夏休みからこれまでの間、練習を続け、成長し、全国の舞台で走ることができました。これからもこの経験を生かして困難なことがあってもそれを乗り越える努力を続けてほしいと思います。お疲れ様でした。

主将の慶音さんの感想を紹介します。

全国駅伝大会ではコースの状態が悪く、一人一人が思ったような走りができませんでした。目標としていた10位台にも入ることができず、悔しい思いをしました。しかし、メンバー9人でたすきをつなぎ、走り抜いたことはとてもよい経験となりました。これを今後の生活に生かして、次の目標に向けて頑張りたいと思います。応援ありがとうございました。

第29回全国中学校駅伝大会 34位 1時間02分06秒 駅伝部



税について知る

15日(水)に税理士の有明令規さんをお迎えして租税教室を開催しました。社会科の授業で税金のことについても学習していますが、今回はより詳しく税のしくみについて学ぶ機会となりました。蒼令学年の皆さんから集まった質問は668個!できるだけ多くの質問に答えさせていただきました。「住んでいるだけで住民税?」「犬小屋には固定資産税はかかりますか?」といったユニークで素朴なものから「コロナ禍で、日本は税金を使いすぎていると思いますが大丈夫でしょうか」などといった将来を案じる質問まで、テンポ良く回答いただきました。これから社会に出てより関わりが深くなる「税」について考える機会となりました。

学年を代表して、4組の葉月さんが「税は遠い存在のものと思っていたが、思ったより身近にあるものだということが分かった」と感想を述べました。

これからも我々を支える存在である税のしくみに関心をもってほしいと思います。



性について考える

22日(水)には生和堂医院の伊藤晴通先生をお迎えして性教育講座を開催しました。

思春期を迎え、性と向き合わなければならない時期となっています。

今回の講話の中では性を考える上で「相手も自分も大切にすること」が一番の基礎となるということをお話いただきました。人は周りにいる人との関わりの中で自然に成長していくことができる存在です。その関わり方を学び、円滑にしていくことが幸せにもつながっていきます。

学年を代表して、3組の和佳奈さんが「これから先の将来に役立つことをいろいろと教えていただいた。これを今後に生かしたい。」と感想を述べました。

将来のことを考え、感情に流されることなく、しっかりと判断をしていくことができるようになってもらいたいと思います。

